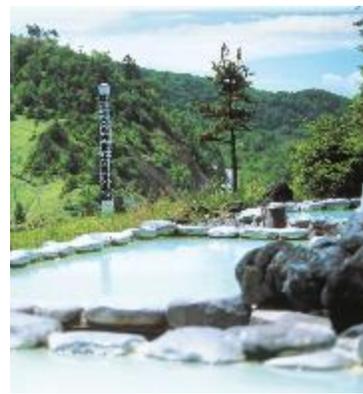


浅間山鬼押し出し園における取組

株式会社 プリンホテル



1. 株式会社プリンスホテル



Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

ホテル事業

ホテル業では、「ザ・プリンス」「グランドプリンスホテル」「プリンスホテル」の3ブランドを国内外に展開しています。多様化するお客さまのニーズに応え、良質で快適なサービスを提供しています。(国内41、海外7ホテル)



ゴルフ場事業

ゴルフ場業では、「軽井沢72ゴルフ」、「川奈ホテルゴルフコース」など日本を代表するゴルフ場をはじめ、28ヶ所の運営によるスケールメリットやノウハウを活かし、良好なコンディションによる快適なプレーを提供しています。



スキー場事業

スキー場業では、「PRINCE SNOW RESORT」として、「苗場スキー場」、「万座温泉スキー場」など全国9ヶ所で事業を展開。ホテル業との連携により、付加価値の高いサービスを提供しています。



その他事業

その他のレジャー事業では、「横浜・八景島シーパラダイス」、「大磯ロングビーチ」、「鬼押し出し園」などの多種多様な施設を有し、お客さまに感動を与えるサービスを提供します。



西武グループ企業倫理規範・行動指針

1 お客さまの重視

1-1 安全第一

私たちは、お客さまの安全・安心を何より優先します。

1-2 誠実な対応

私たちは、常にお客さまの立場で物事を考え、誠実かつ公平に対応します。

1-3 良質なサービスの提供

私たちは、お客さまの声を常に大切にし、時代を先取りした質の高いサービスの提供に努め、新たな取り組みに挑戦します。

1-4 顧客情報の保護

私たちは、お客さまの個人情報を厳正に管理します。

2 ルールの遵守

3 人権の尊重

4 企業市民としての責務

5 経営層の行動

施設概要

鬼押し出し園は、天明3年(1783年)浅間山大噴火の溶岩の名残。噴火の激しさを今に伝える景観は、浅間高原随一の景勝地となっています。岩海の名は、火口で鬼があばれ、岩を押し出した、という当時の人々の噴火の印象に由来しています。

利用者数は、年間約30万人で、GW・お盆などのピーク時には施設の敷地内に1,000人以上いることもあります。



歴史

浅間山は長野県・群馬県両県にまたがる三重式成層活火山です。大きな噴火は、1108年(天仁)、1783年(天明)の噴火が有名であり、それ以降は数回の小・中噴火が記録されています。特に天明の噴火は、現鎌原区を溶岩・火砕流で飲み込み、噴火による死者は1,151人とも言われています。その大噴火によって溶岩が押し出されできた世界三大奇勝とも言われる『鬼押し出し』は1951年7月に溶岩石の中を巡る観光地として開業しました。



災害対策マニュアル等の作成

プリンスホテルグループでは、「お客様及び従業員の安全確保」、「二次災害の防止」、「早期復旧」を目的とした対応を迅速的確に行うため、「災害対策マニュアル」や「事業継続マニュアル」を作成し、災害時に備えて平常時から準備しています。

鬼押出し園を含む群馬エリアでは、火山防災編を作成しており、また、鬼押出し園内の各パートナー企業向けには簡易な防災マニュアルも作成しています。

株式会社プリンスホテル 災害対策マニュアル 火山防災編 (群馬エリア)

2016/1/1

- この災害対策マニュアル火山防災編（群馬エリア用）は、プリンスホテル災害対策要領に基づき、群馬エリアで想定される火山災害（地震災害を除く）に対する平常時の準備及び災害発生時の対応の手順・要領を定めたものである。
- 災害対策マニュアル火山防災編（群馬エリア用）は、「平常時準備編」、「緊急時対応編」及び「巻末資料編」で構成する。
 - ・ 「平常時準備編」は、災害発生時、円滑な災害対応を行うために、平常時に準備しておくべき事項及び平常時の活動を定めたものである。
 - ・ 「緊急時対応編」は、主として、災害発生後の初動対応及び現地対策本部を設置し組織的対応を行うための要領を示したものである。
 - ・ 「巻末資料編」は、平常時準備編及び緊急時対応編の巻末資料をまとめたものである。
- 本マニュアルを改訂する場合は、災害対策要領に準拠するとともに、事業所の特性を踏まえて行うものとする。

鬼押出し園従業員
パートナー企業の皆さまへ

防災マニュアル (災害時・緊急時)



Copyright(c) Prince Hotels All rights reserved



2015年5月12日

噴火警戒レベル3強時の休園・規制

浅間山の噴火警戒レベル3は火山活動の状況に応じて、2段階(強弱)設定されています。

噴火警戒レベルが3強になった際には、嬬恋村等から連絡を受け、鬼押し出し園、六里ヶ原休憩所の休園と鬼押しハイウェイの規制を行います。

突発的な噴火時の対応

鬼押し出し園では、万が一の場合に備えて、以下のように突発的な噴火が発生した際の対応も定めています。

①屋内等への緊急退避の誘導

屋外にいる来園者の方は、園内の緊急時の避難場所・待機場所に誘導し、屋内にいる方には屋外に出ず待機するよう呼びかけます。

②退避場所・待機場所からの誘導

火山活動を観察しつつ、園所有の緊急車両により、避難場所や待機場所から園事務所棟まで誘導します。

③規制範囲外への誘導

園事務所棟に誘導した後は、各自の移動手段により、帰宅していただきます。移動手段がない方は、園やプリンスホテルグループの保有する車両や、嬬恋村と連携して輸送します。

また、交通規制が行われるため、三原方面へと誘導します。



情報伝達

突発的な噴火時には、鬼飯センターの屋外スピーカーや、園内の従業員のハンドマイク等により避難誘導等の呼びかけを行います。



噴火の場合

非常時起動のボタンを押す（非常のベルが鳴る）

一斉放送ボタンを押す

マイクを取りスイッチを押しながら

浅間山の噴火です。噴火です。

あわてず近くの建物または避難所に退避してください。

浅間山の噴火です。噴火です。

あわてず近くの建物または避難所に退避してください。

次の連絡までは外に出ないでください。

浅間山の噴火です。噴火です。

あわてず近くの建物または避難所に退避してください。

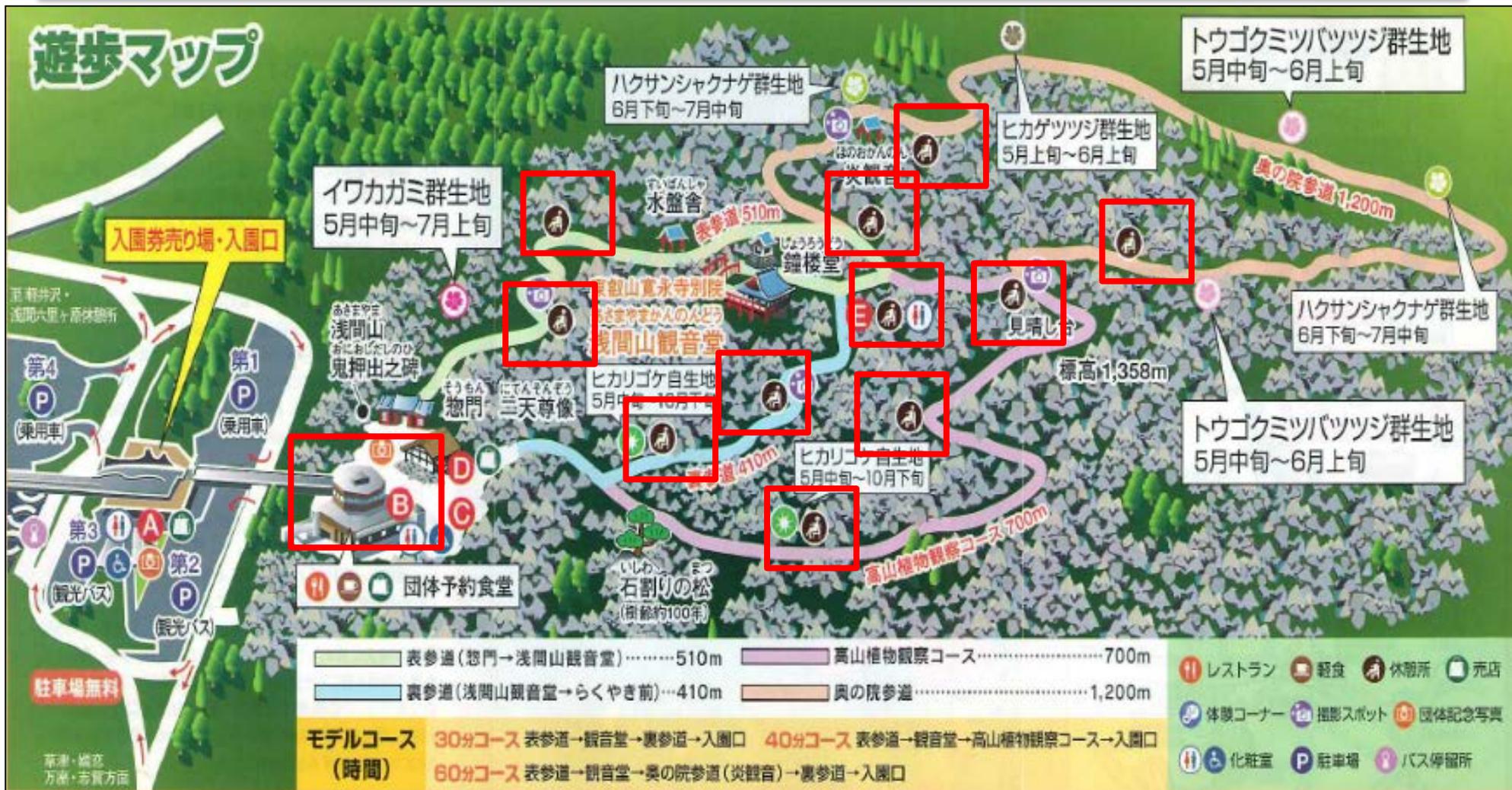
次の連絡までは外に出ないでください。

非常復旧

4. 鬼押出し園における火山災害対策

緊急避難場所の設定

鬼飯センターや(B)、休憩所()を突発的な噴火時の緊急時避難場所としています。



退避壕の設置

鬼押出し園では、昭和48の噴火後に8基、その後昭和63年に2基設置し、計10基の退避壕を設置しています。



備品の配備(地震等と共通)

園の事務所や、各テナントには緊急持ち出し用品を備蓄しています。

- ヘルメット
- ハンドマイク
- 軍手
- ライト
- マスク
- 酸素缶
- ウェットタオル
- ティッシュペーパー など



訓練の実施

鬼押出し園では、噴火時等や火災発生時のような緊急時を想定した避難誘導訓練や通報訓練を、年2回実施しています。

避難誘導の様子



放送の様子



車両による誘導の様子



安否確認等の報告の様子

